

あこがれのたより

10月

発行責任者
西川 晃二

【校長室より】

ネット社会の功罪

電信電話産業は、1876年、ベルによる電話機の発明から、急速な発展を遂げてきました。私自身の経験からしても、昭和30年代、交換手と呼ばし出での電話から、回転式の自動電話へ、そしてプッシュホンの時代を幼少期に経験、つい10数年前には携帯電話なるものが我が物顔に登場。果てはメール機能が付き、何が何やらわからぬうちに、今やスマートフォンを持たぬ者は時代遅れだと蔑視される始末。身近な科学技術の最たる進歩版と言える。さらには、コンピュータの世界に目を転じると、超巨大な旧式コンピュータからデスクトップ型、さらにノートパソコン、今日ではタブレット版が登場し、これまた、めまぐるしい進歩ぶりである。

このようなネット社会にあって、都会の電車の乗客は車窓の風景に一切関心を払わず、タッチパネルの世界にどっぷりと浸り、人そのものへの関心は皆無の様。他人の存在を認めてこそ社会生活が営まれると教わった、旧式の自分にとってはパネルもしくはコンピュータのディスプレイだけを見て一日が終わる最近の人を見るにつけ恐怖感を抱く。

中村陽介教諭の「IOWA通信(5号)」を紹介し、ネットと教育について述べてみたい。

大学のすべての教室にはプロジェクタ、スクリーン、OHPが設置されていて、教卓横の操作盤で簡単に操作できます。実際に授業の際も板書代わりにパソコン画面を映し出して進める先生もいますし、どんな内容の授業であってもオンラインの教材を使わない先生はまずいません。プレゼンする際はプレゼンソフトを必ず使わなければいけません。内容が良くても話し方がダメだといけないそうです。おまけに、授業ごとにホームページがあり、課題の指示も提出先もネット上。授業のプリントもワークシートもネット上。文献を探すのもネット上。教科書以外の文献は画面上で読まないに間に合わず、先生方とのやり取りもすべてメール。ここでは、パソコンを使えないと本当に致命的です。スマートフォンが普及するはずで。

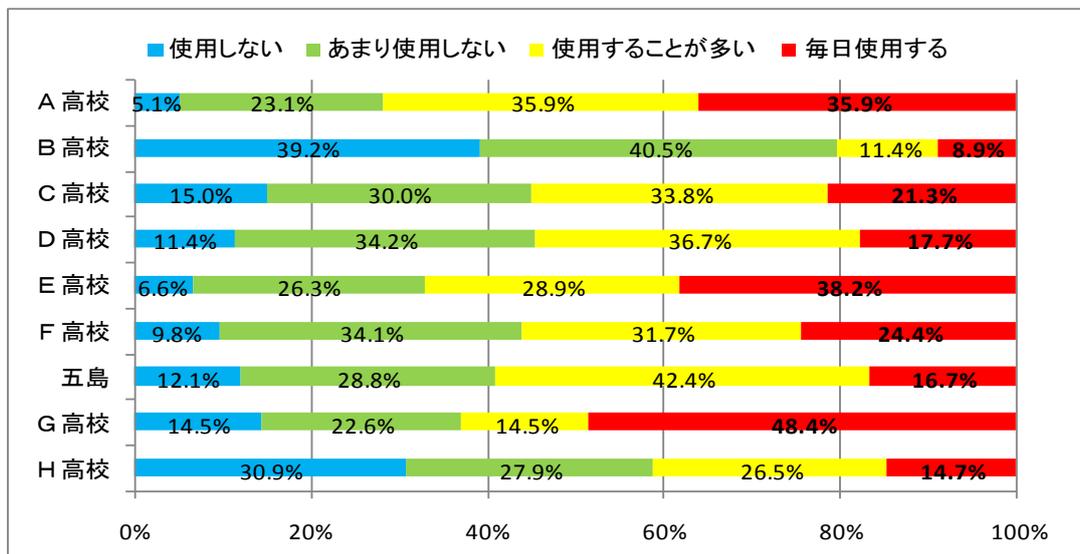
日本の大学の状況も、上記の「IOWA通信」のアメリカほどでなくとも、課題の提出はメールでという風になりつつあるようです。作成に際してもパワーポイントが必要だと、大学1年の娘にせがまれ、急遽我が家でも最新式のパソコンを購入したところでした。

このようにネット活用の波は確実に教育界にも浸透しつつあります。ネットを「適正に」活用することが、これからの若者にとっては最重要なこととなります。今年、諫早商業高校ではタブレットを導入した教育を展開しています。どのような教育効果を上げているかは、まだ不明ですが、アメリカの大学でのネット活用と同様に、日本の高校にも新たな教育機器として将来導入されることになるでしょう。

さて「適正に」と述べましたが、ネット、特にメール、チャット、ブログ等についてはまだまだ課題が残されています。ネットによる「いじめ」がその最たるものです。いじめに行き着かなくとも、勉強そっちのけでメールを打ち込む高校生については時間の活用という意味で大なる問題があります。先日の教頭会で、考えさせられる資料がありました。以下転載します。午後10時以降の携帯使用調査結果です。五島高校使用状況と他校のそれとを比較して見てもらいたいと思います。

<教頭会資料>
※10時以降の
携帯使用状況
(メール)

特にB高校とH高校については学校による使用時間制限が効果を上げているようです。



1 学年保護者の皆様へ

第1 学年主任 山口 一守

No. 2

9月26日(水)に実施された学年PTA・学級懇談会には、平日にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

学年の全体会では、宮崎学年委員長にご挨拶をいただいた後、生活面、学習面について現況報告や教育課程の変更、修学旅行についての説明を各担当の職員からお伝えしました。今回の学年会で、お子様が本校に入学されてからの学校生活での現状と今後の課題、そして第1 学年の指導方針についてご理解いただけたのではないかと考えております。1 学年の教員と保護者の方々がスクラムを組んで、お子様の目標達成や進路実現に向けて進んでいきたいと考えております。1 学年の生徒は学校で学習と部活動の両立に励んでおります。ぜひ、ご家庭でもひと声をかけていただき、ご家族の方からお子様へ頑張る力を送っていただきたいと思います。また、その後の学級懇談会の中でも、保護者間や担任との貴重な情報交換ができたと思います。保護者の方のお話も参考にさせていただき、これからの1 学年の生徒の成長へつなげていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



2 学年保護者の皆様へ

第2 学年主任 村田 誠

9月26日(水)の学年PTAにつきましては、平日にも関わらず、多くの保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。

会の中では、1. 学年の現況報告 2. 進路指導部からの報告 3. 生徒指導部からの報告 をさせていただきました。進路指導部からは、大学入試についての手順をパワーポイントを使い、詳しく説明しましたが、とても分かりやすく、大学入試のシステム等について、ご理解いただけたのではないかと考えております。

2 学年では、大きな目標の一つである10月進研模試を終え、11月末には2 学期の期末考査、そしていよいよ修学旅行を迎えます。11月は部活動の新人戦もあり、両立がますます必要な時期でもあります。生徒たちが充実した高校生活を送ることができるように支援していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

福江みなとまり(9月30日)

生徒会指導部

9月30日(日)、第36回福江みなとまつりに生徒、保護者、職員合わせて約200名が参加しました。今年度は、台風の影響によりねぶたが破損しましたが、多くの方々の協力を得て、無事に修復し、みなと祭りに参加することができました。吹奏楽部の演奏するマーチング、サンバ、校歌が沿道に響き、校歌演奏に合わせて口ずさむ市民皆様の姿が今年も見られました。

休日の夜間、中間考査直後にもかかわらず、参加してくれた有志の生徒たち、ならびに保護者の皆様に心より感謝いたします。生徒が主役の五高ねぶた。今年もさわやかな印象を五島市民に与えたことでしょう。



未来の科学者発掘プログラム(10月3日)

理科

10月3日(水)、2年4・5組を対象に未来の科学者発掘プログラムの一環として、クラスラボが実施されました。このプログラムは、長崎大学薬学部出身の下村脩博士のノーベル化学賞受賞を機に、理科教育の充実を図るために実施されています。

本校では、昨年度に引き続き、長崎大学大学院医歯薬総合研究科の石原淳先生に「光の化学」というテーマで講義をしていただきました。発光生物が発光する仕組みを、ルミノール反応や発光ペンを用いた実験を交えながら、わかりやすく説明していただきました。中でも、乾燥させたウミホタルを発光させる実験では、その発光の美しさと死骸であっても発光することへの驚きに、生徒からは喚声があがっていました。

受講後の生徒からは、「死んでしまったウミホタルが発光するのが不思議だった。」「お祭りなどで見る発光ペンが、化学反応で光るのが意外だった。」「今日は分かりやすく話してもらったが、大学ではそういう訳にもいかないと思うので、今のうちに基本をしっかり勉強したい。」などの感想を聞くことができました。どの生徒の表情からも、充実した時間を過ごしたことが窺えました。

理科の高大連携事業は、11月にも物理・生物分野で計画されています。今回のクラスラボ同様、充実した時間になるのではないかと思います。

国体報告(10月7日)

陸上部 野口 貴史

私は、岐阜清流国体の陸上競技少年Aやり投げに出場しました。結果は58m42cmで12位でした。目標としていた自己記録の更新をすることはできませんでしたが、国体という全国の舞台を経験することで多くの経験と感動を得ることができました。

私は、とにかく陸上競技が好きで、試合が好きで、合宿が好きで、陸上のこととなるととても気持ちが熱くなります。しかし、陸上競技を続ける中では、楽しい事ばかりではなく、苦しいことや悩むこともありました。そういう時、私は仲間や指導して下さる先生、地域の方々、そして保護者に支えていただきました。この様に、私は多くの人に支えられているので、思い切り陸上競技に打ち込めるのだと強く実感しています。本当にありがとうございました。

今後は、陸上競技は一休みして、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、進路実現にクラスの一員として、五島高校生として全力で取り組んでいきたいと思っております。



心に響く人生の達人セミナー（10月9日）

研修図書部

No. 3

10月9日（火）、本校体育館メインアリーナにおいて「心に響く人生の達人セミナー」を実施しました。本年度の講師は公益社団法人日本経済研究センター代表理事・会長 杉田亮毅さん（元日本経済新聞社社長 大村市出身）。杉田さんには『世界で活躍できる人になるには』というテーマでご講演をいただきました。

講演では、これからの日本人に必要な資質として①国内外のどこでも働くことができるたくましさ②自分の考えを持ち論理的に表現できる能力③自国の文化・歴史をしっかりと学んでおく④創意工夫ができる⑤英語力⑥最後の3%を頑張れる⑦「グローバル人間」「イノベーション人間」など、変化の激しいグローバル社会を力強く生きていくためのヒントをいただきました。

講演終了後には、3年5組の中村亮太君からの「創意工夫の能力はどのようにして高めることができますか？」の問いに対して「他の人が意見を求められているとき、「自分だったらこうする」といつも自分なりに考える癖をつけることが必要だ」と答えられました。

杉田さんによる五高生へのメッセージは確実に心に刻まれ、これからの人生を生きていく指針となったことでしょう。



センター試験100日前集会（10月11日）

3学年



10月11日（木）にセンター試験100日前集会を開催し、センター試験出願者149名に対し、西川校長・3学年主任・PTA会長の野口様から、それぞれ激励の言葉をいただきました。

そして生徒代表草野予喜君からは、熱のこもった挨拶がありました。会場全体に「このままではいけない。頑張ろう!」という気持ちが入り、気合が入った集会となりました。これからはたくさんの方々の思いを胸に、生徒たちは自分の進路を切り開くための努力を続けていきます。辛いこと悲しいことがあっても、友人・保護者・先生方など多くの人が応援してくれているということを忘れずに頑張りたいと思います。

第3学年PTA（10月11日）

第3学年主任 楠本 亨

センター試験100日前である10月11日（木）に、本校メモリアルホールにて第3学年PTAを開催いたしました。吉田学年委員長挨拶にはじまり、学校長による挨拶、学年主任から学年の現況、進路指導主事から出願までの流れや入試の概要等について説明がありました。



平日の多忙な時間にもかかわらず、多数の保護者の皆様にお集まりいただき本当にありがとうございました。11月末には第3回の志望校検討会を行い、12月中旬には三者面談を予定しています。いよいよ進路決定の時期が近づいてきています。教職員一同、これからも一丸となって全力でお子様の指導にあたって行きたいと考えております。今後ともご協力・ご支援のほどよろしくお願い致します。

第39回 衛生看護科戴帽式（10月17日）

衛生看護科

10月17日、戴帽の儀をとりおこない、衛生看護科2年生20名は看護の道を歩みはじめる決意を新たにいたしました。看護師を目指すひとりとして、憧れのナースキャップを戴いたことに感激すると同時に、実際に患者様と向き合うという重い責任を感じたひとときだったと思います。看護師という仕事の責任の重さを忘れることなく、また実習生としての本分をわきまえた謙虚な気持ちで実習に励んでもらいたいと思います。最後になりましたが、参列していただいた来賓の方々や保護者の方々には、心よりお礼申し上げます。



戴帽式では、たくさんの方に見守っていただき、本当に嬉しかったです。校歌の声が大きく、とても励まされました。病院実習は不安や緊張でいっぱいですが、たくさん応援していただいた分、精一杯頑張っ、夢を叶えたいと思います。ありがとうございました。（生徒感想より）

スポーツコース体力総合診断（2年）（10月18・19日）

スポーツコース

10月18日（木）・19日（金）の2日間、長崎県立総合体育館にて体力総合診断を行いました。この体力テストは、専門的な器具を使用し普段測定することができないような、体力測定や身体組成の測定を行うことができるものです。

初日は身体組成および身体計測、2日目はメディカルチェック・食生活診断・筋力、瞬発力、持久力の診断を行いました。昨年度からどのくらい成長したのかを知るために、全ての種目において全力で取り組んできました。多くの測定種目において値の向上が見られ、日々のトレーニングの成果が現れていました。また、栄養面について指導を受けるなかで、トレーニング以外の面でも課題を見つけることが出来ました。

今回の診断をきっかけにして、目の前に迫っている新人戦や来年の高総体に向けて、さらに努力していきます。また、このような貴重な経験ができたことに感謝して、学校生活・部活動に取り組んでいきます。



10月22日（月）に五島消防署から3名の講師の方々にご来校いただき、防災避難訓練を行いました。2階調理実習室から火災が発生したと想定しての訓練でしたが、生徒の皆さんの迅速な動きでスムーズに避難をすることができました。風が強かったため、消火訓練は行うことができませんでしたが、これから乾燥した季節になります。火災やその他の災害にも十分に気をつけてもらいたいと思います。

また、翌日の23日（火）に交通安全教育講話も行いました。五島警察署交通課長様にご来校いただき、DVD上映及び講話をいただきました。普段利用することの多い自転車の危険性にもふれていただき、生徒のみなさんの意識も高くなったようです。日が沈む時間が早くなるこの時期、登下校時は事故の危険性が高まります。今回の講話を参考にしてもらえればと思います。



試合結果報告

(1) 柔道部

平成24年度長崎地区高等学校新人体育大会 柔道競技

男子団体 2位

男子個人	100kg超級	2位	松下 倅清	100kg級	3位	山本 肇人
	100kg級	3位	川崎 寛明	90kg級	3位	川村 久也
	81kg級	優勝	祝 貴之	73kg級	3位	宮本 大樹
	66kg級	3位	大川 都与	60kg級	3位	都々木 宏明
女子個人	52kg以下級	3位	松野 美月			

(2) 剣道部

平成24年度長崎地区高等学校新人体育大会 剣道競技

男子団体 2位

女子団体 優勝

女子個人 優勝 村山 遙貴 2位 内海 智晶

(3) 陸上部

平成24年度全九州高等学校体育大会 新人陸上競技大会

100mH 第4位 戸川 祐華 七種競技 第4位 平田 千佳

第42回長崎市陸上競技選手権大会

男子110mH 2位 市川 卓 男子4×400mR 3位 (松尾・中山・河野・狩浦)
 男子5000m 3位 木戸 康博 女子100mH 1位 戸川 祐華

(4) ソフトテニス

第9回五島市ソフトテニス秋季選手権大会

Cクラス 優勝 渡辺 千穂 石原 聖梨加
 3位 平山 楓 中村 史果

(5) サッカー

第9回五島市民体育大会 優勝

第91回全国高等学校サッカー選手権大会長崎県大会出場

(6) バドミントン

第47回長崎地区高等学校バドミントン競技新人大会

男子個人 3位 中山 一志

(7) 自転車競技

2012年九州地区ジュニア自転車競技大会

2kmインビディデュアル パーシュート 2位 出口 倫子
 500m " 2位 出口 倫子

(8) 百人一首かるた部

平成24年度長崎県高等学校百人一首かるた競技第6回新人大会

A組 優勝 平川 遼子 A組 3位 千代田 紗希
 A組 4位 中村 光 A組 8位 谷川 晶保
 A組 8位 入口 育美 A組 8位 大石 明日香

